

東京富士大学・東京富士大学短期大学部 公開講座

平成25年
11/29(金) 18:00~19:30
※19:30から意見交換会(参加無料)

第1部 塩谷 由美子 (東京富士大学経営学部教授・国際交流センター一部長)
小野塚 若菜 (東京富士大学経営学部非常勤講師)

外国人留学生の能動的学習の促進を目指して

大学での学びは、知識獲得のための受け身の学習ではなく、問題解決と論理的表出を目的とした学生自身の能動的学習が求められます。日本で学ぶ外国人留学生も例外ではありません。留学生の「日本事情」科目で、母文化を内在する留学生が他の受講者とのインタラクティブなやり取りを通し、学ぶ主体として日本文化を能動的に「考える」授業の取り組みを紹介します。



塩谷 由美子



小野塚 若菜

第2部 金木 亮憲 ジャーナリスト・コラムニスト
国連支援交流協会 ASEAN-JAPAN支部 副支部長

「留学生キャリア形成・新時代」 ～working with Japanese～

『入口は別でも、出口は同じ』では無責任という声があります。日本政府は2008年に「留学生30万人計画」を発表、目標を「東京五輪」の年2020年においています。2000年以降に本格化した企業の留学生採用は2007年に1万人を突破しました。しかし、それは日本で就職希望の学生の3割に過ぎず、現在も同じ状況が続いています。企業と留学生の認識のどこにギャップがあるのか。大学の留学生「キャリア教育」や「就職支援」はどうあるべきかを探ります。



※講演終了後に、講演者との意見交換会を予定しています。(コーヒーをご用意しています。)ぜひご参加ください。参加費無料です。

【会場】 東京富士大学
本館1階メディアホール

【定員】 100名

【申込み】 お電話か、下記メールアドレスまでメールにてお申し込みください。メールには、「公開講座申込希望」の旨と氏名、住所、電話番号、当公開講座を知ったきっかけをお書き下さい。
jigyoka@fuji.ac.jp

【問合せ】 TEL 03-3360-5050 (平日9:00~17:00)

【参加費】 無料

【締め切り】 平成25年11月8日(金)

【主催】 東京富士大学学術研究会

